

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	04	男女共同参画社会の構築
施策	01	男女平等のための意識づくり

目的

男女共同参画社会の実現を目的として、講座等により啓発活動を充実させます。

対象・手段

区内在住、在勤、在学者、地域団体、事業者を対象とした講座等(シンポジウム、性と生の講座、エンパワーメント講座、パートナーシップ講座、講師派遣)を実施します。

施策の方向

男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、責任も分かち合い、ともにあらゆる分野に参画できるような意識の浸透を図ります。

基本計画(平成10~19年度)の目標達成状況

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
男女平等意識肯定割合(%)	(平成10年度) 19%	(平成19年度) ↑	(平成19年度) 28.9%	実績は基準値の約1.5倍に伸びています。
講座参加者の男性参加率(%)	(平成10年度) 3.0%	(平成19年度) 30.0%	(平成19年度) 17.3%	53.0%

指標名の定義： 社会全般に渡って男女平等になっているか肯定回答割合
女性対象事業を除く講座の男性参加数 / 講座参加者

成果指標

指標名		定義		目標水準	
啓発事業参加者数	参加者数/16年度参加者の2割増	(平成19年度)	年度に	(平成16年度)	の水準達成
啓発事業参加者の評価	アンケートの肯定回答数/全体回答数	(平成19年度)	年度に	(100%)	の水準達成
		()	年度に	()	の水準達成

施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	人	732.00	732.00	732.00	
	実績1	人	739.00	608.00	652.00	
	目標達成率1 = /	%	100.96	83.06	89.07	
	目標値2	%	100.00	100.00	100.00	
	実績2	%	92.20	88.20	91.28	
	目標達成率2 = /	%	92.20	88.20	91.28	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	子ども家庭部
-----	--------

主な取組み

- (19年度実績)
- 男女共同参画シンポジウム 1回 336人
- 性と生の講座 3回 95人
- エンパワーメント講座 3回 76人
- パートナーシップ講座 2回 57人
- 講師派遣 3回 88人

課題

今後も若い世代や男性等、新たな参加者を増やしていくため、常に社会情勢や区民ニーズの変化・多様化を捉えた事業を考えていく必要があります。

評価

総合評価	
<p>区民ニーズを捉えた効果的な事業を行うため、19年度はすべての講座の企画・運営を区民との協働で行いました。目標値については約9割まで達成したため、総合評価をBとしました。</p> <p>しかし、「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査」では、さまざまな分野で「男女が平等である」との回答割合は28.9%であり、未だ男性を優位とする意識も根強くみられます。今後も地道に継続して男女平等に向けた意識づくりを進めていく必要があります。</p> <p>サービスの負担と担い手 本施策は、男女共同参画社会の構築に向け、区の税負担による啓発活動等を通して、男女平等のための意識作りを行うものです。社会のさまざまな分野において公正な視点を保ちつつ、一般市民の問題意識を取り入れて施策を進めるため、区と区民の協働で行うことが適切です。</p> <p>適切な目標設定 多くの区民に男女共同参画について考える機会を提供できたか、また、内容が参加者のニーズに応えるものであったかを測る指標として、適切な目標を設定しています。</p> <p>効果的・効率的な視点 区民との協働により、効果的に区民ニーズを反映させた講座を企画しています。</p> <p>目的の達成度 一部の講座は開催回数の減少により、参加者数が減少しましたが、全体としては参加者数、参加者からの評価ともに向上しました。目標値については約9割まで達成し、区民ニーズを取り入れた企画による成果がみられます。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

今後も、区民ニーズを反映した講座を実施し、より多くの区民が男女共同参画について考える機会を提供できるよう、区民との協働を推進していきます。

この施策は新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - 男女共同参画の推進」に引き継いで取り組んでいきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
男女共同参画への啓発活動の充実	B	140		